

古事記の神様から吉野ヶ里へと至る 古代有明海を探る シンポジウム



目的

有明海沿岸域の3湿地がラムサール条約登録湿地となったのを記念して、昨年11月佐賀市において「第8回アジア湿地シンポジウム2017inSAGA」が開催されました。アジア各地から参加した諸団体は、湿地の自然保護に取り組むばかりでなく、地域の文化に対する愛着と誇りを広報することに力を注いでいることを知りました。今年度は、鹿島ガタリンピックや海神祭などの祭りを主催している方々との連携を深め、有明海沿岸域における文化に対する理解を深めます。

Schedule

13:30

基調報告

13:40

「シンポジウムが目指すもの」

～方向性と古代有明海の範囲～

荒牧 軍治氏 NPO法人有明海ぐるりんネット代表理事

13:45

基調講演

15:25

「有明海の竜宮から佐賀平野を見る」

～有明海沿岸域の「神様の系譜」全体像～

合田 博子氏 社会人類学博士・元兵庫県立大学環境人間学部教授

「吉野ヶ里遺跡から見える風景」

～祭祀と国際性～

高島 忠平氏 考古学者・佐賀女子短期大学元学長

10分休憩

15:35

パネルディスカッション

講演者と参加者による意見交換

コーディネーター 荒牧 軍治

日時

平成30年

12/2日

▶13:30～16:30

場所

さが水ものがたり館 会議室
(佐賀市大和町尼寺)

参加無料

当日先着順
(70人収容)

駐車場
100台収容

